

履 歴 書

(そ の 1)

氏
名

| 年 | 月 | 日 | 居 住 関 係 | 学 歴・職 歴 | 身 分 関 係 |
|---|---|---|---------|---------|---------|
| | | | | | 出生 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

- (注) 1 「年」については、日本の元号で記載する。
2 履歴事項については、古い年代のものから漏れなく記載する。例えば、学歴については、転校、中途退学、卒業の学部等についても記載し、職歴（本国での職歴や日本に入学した後に行ったアルバイト歴も含む。）については、勤務先だけでなく、担当した職種についても記載する。
また、身分関係については、父母の死亡及び事実婚についても記載する。
3 用紙が不足する場合には、同一用紙を用いて記載する。
4 この書面は、申請者ごとに作成するが、15歳未満のものについては、作成することを要しない。

履 歴 書

(その2)

氏名

| 出入国歴 (最近 年間) | 回数 | 期 間 | 日 数 | 渡 航 先 | 目的、同行者等 |
|-----------------|--|------------------|-----|-------|---------|
| | 1 | ~ 年 月 日 年 月 日 | | | |
| | 2 | ~ 年 月 日 年 月 日 | | | |
| | 3 | ~ 年 月 日 年 月 日 | | | |
| | 4 | ~ 年 月 日 年 月 日 | | | |
| | 5 | ~ 年 月 日 年 月 日 | | | |
| | 6 | ~ 年 月 日 年 月 日 | | | |
| | 7 | ~ 年 月 日 年 月 日 | | | |
| | 8 | ~ 年 月 日 年 月 日 | | | |
| | 9 | ~ 年 月 日 年 月 日 | | | |
| | 10 | ~ 年 月 日 年 月 日 | | | |
| 総 出 国 日 数 | | | | | |
| 技 能 格 | 年 月 日第1種普通自動車運転免許取得 (免許証番号第 号) 年 月 日日本語能力試験N レベル | | | | |
| 使用言語 | | | | | |
| 賞 罰 | | | | | |
| 確 認 欄 | | | | | |

- (注) 1 「年」については、日本の元号で記載する。
 2 出入国歴については、法定住所期間におけるものを記載する。ただし、最短でも最近1年間の出入国歴を記載する。
 なお、出入国歴欄が足りない場合には、出入国歴表（付録第22号様式）に記載する。
 3 使用言語欄については、本国における親族・友人との間で主に使用している日本語以外の言語を記載する。
 4 賞罰欄については、過去から現在までの全てのものを記載する。
 5 確認欄については、記載しない。